



証券コード：3636

2014年9月期

# 中間報告書

2013年10月1日～2014年3月31日



株式会社三菱総合研究所

## ごあいさつ



株主の皆様には平素格別のお引き立てとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2014年9月期第2四半期累計期間(2013年10月1日～2014年3月31日)の連結決算と当社グループの現況をご説明申し上げます。

代表取締役社長 **大森 宗吉**

2014年9月期第2四半期累計期間の日本経済は、内需の堅調により回復基調を維持し、雇用環境の改善や企業業績の回復など明るい動きがみられました。このような環境下、当社グループは震災復興支援や防災・地域再生に引き続き積極的に取り組むとともに、新たな社会の枠組みの創出や、民間企業の営業戦略・業務革新にかかるコンサルティング、金融機関向けのシステム構築などを積極的に推進しました。また、「Think & Act Tank」のコンセプトのもと、新たな事業展開に取り組みました。これらの結果、第2四半期累計期間の連結業績は、売上高422億円(前年同期比11.4%増)、営業利益39億円(同37.0%増)、経常利益40億円(同36.7%増)、純利益21億円(同35.8%増)となりました。いずれも、前年同期実績及び期初公表予想を上回る成果となっております。なお、中間配当は期初公表どおり1株当たり20円と決定いたしました。

「事業構造」・「業務プロセス」の2大改革を中核に取り組んできた3か年中期経営計画は業績改善という具体的な成果に結びついております。2014年9月期は本計画の最終年であると同時に、次の計画に向けた準備・助走の年でもあります。持続的な成長を実現するため、事業の多角化・複合化に向けた基盤整備を着実に進めてまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 通期業績予想

(2013年10月31日公表予想値から変更なし)

● 売上高 **868**億円  
前期比 **7.0%** ▲

● 営業利益 **55**億円  
前期比 **2.4%** ▲

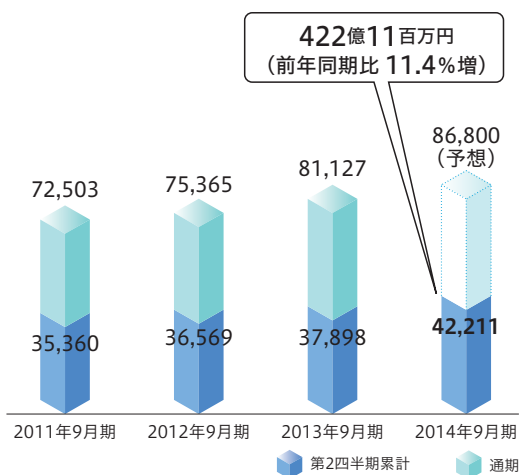
● 当期純利益 **29**億円  
前期比 **1.9%** ▲

## 決算のポイント

- 消費税増税の影響に加え、金融業向け売上の増加により、前年同期実績、期初公表予想ともに上回る業績
- 増収効果と利益率改善により販管費の増加をカバー、営業利益は前年同期比約4割の増益
- 第2四半期累計期間の純利益は過去最高を達成

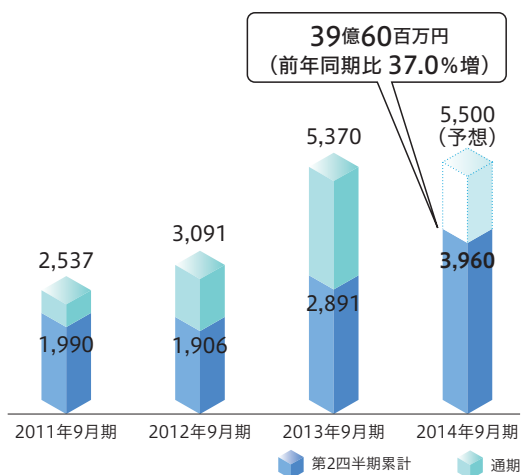
### 売上高

(単位：百万円)



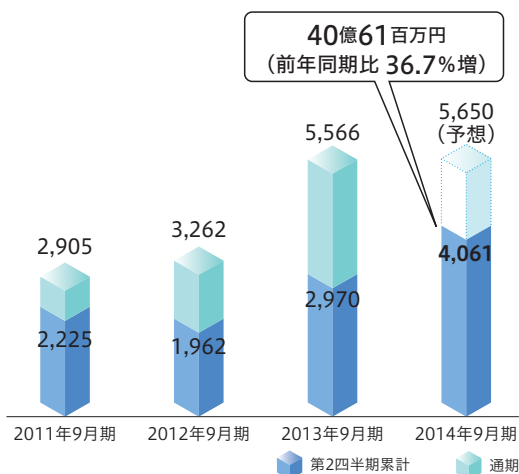
### 営業利益

(単位：百万円)



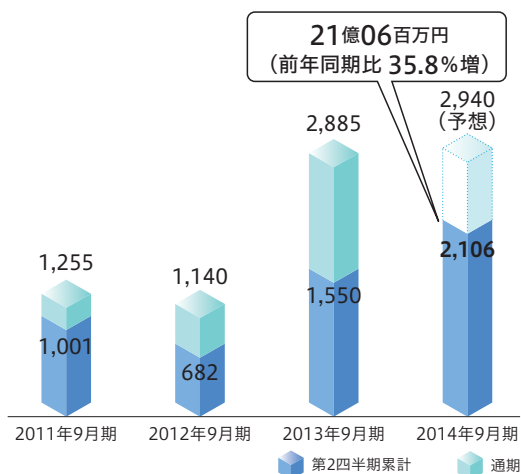
### 経常利益

(単位：百万円)

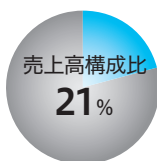


### 四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



## セグメント別業績

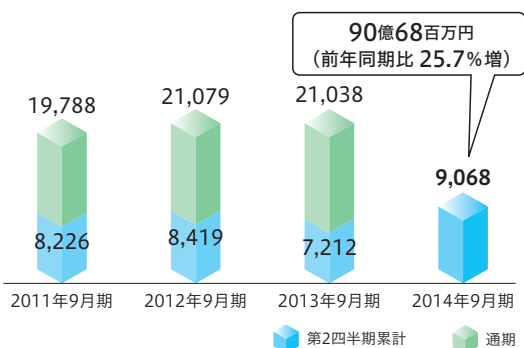


### ● シンクタンク・コンサルティング事業

- 地球温暖化、科学技術や国際標準化など、国の政策・戦略支援に向けた調査案件が貢献、消費税増税を前に売上計上時期が早まったことで、売上高は前年同期比大幅増加
- 増収や順調な受注を背景に稼働も改善、営業利益は前年同期比約6割の増益

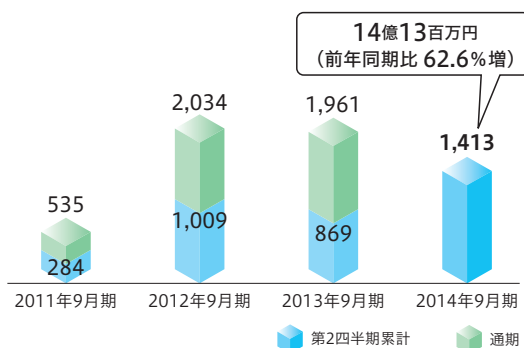
#### 売上高

(単位：百万円)



#### 営業利益

(単位：百万円)

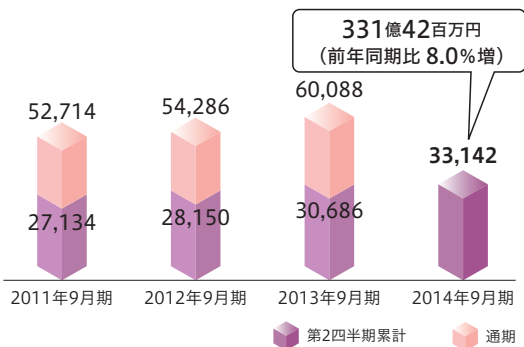


### ● ITソリューション事業

- 金融機関・カード会社向けのシステム開発やアウトソーシングサービス、顧客データ分析などが貢献、売上高は着実な増加トレンドを維持
- 増収効果に加え、原価削減により、営業利益は前年同期比約2割の増益

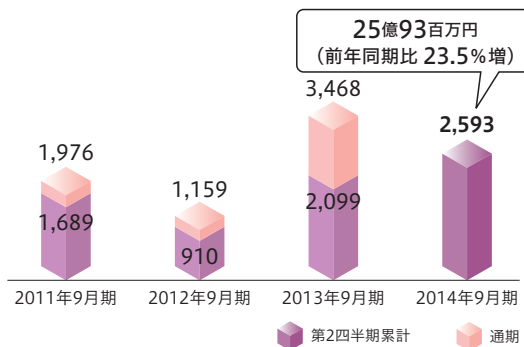
#### 売上高

(単位：百万円)



#### 営業利益

(単位：百万円)



## トピックス

### 東京オリンピック・パラリンピックへの 取り組み



当社は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、未来に持続するレガシー(遺産)を創り出すことが重要と考え

ます。2014年4月、産官学・異業種が参加して具体的な施策や事業を創出する場として、「レガシー共創協議会」を立ち上げました。民間企業、政府・自治体、スポーツ団体等約150主体が集まり、日本の抱える社会課題を克服し、人々の夢を実現するための計画づくりと具体的な事業・施策の創出を目指します。

当社では、「東京都トップアスリート発掘・育成事業運営補助委託」を受託し、トップアスリートの発掘・育成を支援しているほか、容量拡大に向けた首都圏空港の関連調査など、レガシー共創を推進する各種調査研究を実施しています。

<http://www.mri.co.jp/opinion/legacy/index.html>

### 日本の伝統的な食文化を 世界にアピール

2013年12月、「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。当社は、ユネスコへの登録申請に向けた基礎調査を実施し、「自然を尊ぶ日本人の気質をふまえ、生活に密着した四季折々の食文化を重視する」という申請方針を決定する上で、重要な役割を担いました。他にも、日本食・食産業の海外市場開拓を目的とした調査など、「食」に関するさまざまなプロジェクトを受託・実施しています。

当社が発行する総合未来読本『Phronesis(フロネシス)』最新号(2014年5月刊)では、和食を日本の良さの一つとしてとりあげ、和食の魅力と新たなビジネスの芽を探りました。

『Phronesis(フロネシス)』  
最新号(2014年5月刊)



<http://www.mri.co.jp/opinion/magazine/index.html>

### 公式サイト 投資家情報 のご案内

三葉製研グループは、お客様とともに未来を切り拓く「未来共創」をミッションとし、前進と成長を続けてまいります。

2014年9月期 第2四半期決算説明会開催のお知らせ

THINK and ACT TANKへ

ニューノーマル時代における日本の生活者市場を読み解く。

#### 決算説明会動画配信中

2014年4月28日に開催した2014年9月期第2四半期決算説明会の模様を、当社ホームページでご覧いただけます。(2014年7月中旬まで)



#### 広報・IRメール配信サービス登録受付中

当社からニュースリリース、決算発表、そのほかIRに関する情報を電子メールでお知らせします。投資家情報トップページよりご登録ください。

<http://www.mri.co.jp/ir/index.html>

## 会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名 株式会社三菱総合研究所  
英文社名 Mitsubishi Research Institute, Inc.  
本社所在地 〒100-8141  
東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
設立年月日 1970年5月8日  
資本金 6,336百万円  
従業員数 856名(単体)  
3,441名(連結)



ホームページ <http://www.mri.co.jp/>

## 株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株  
発行済株式の総数 16,424,080株  
株主数 4,700名  
所有者別分布状況

	株主数 (名)	構成比 (%)	株数 (千株)	構成比 (%)
金融機関	23	0.49	3,045	18.54
金融商品取引業者	23	0.49	72	0.44
その他の法人	188	4.00	10,234	62.32
外国法人等	77	1.64	345	2.10
個人・その他	4,389	93.38	2,726	16.60
合計	4,700	100.00	16,424	100.00

※株数は百の位を切捨て

## 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 12月  
基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日 9月30日  
期末配当金支払株主確定日 9月30日  
中間配当金支払株主確定日 3月31日  
(上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ定めた日)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

### アンケートご協力をお願い

いつもアンケートにご協力いただきありがとうございます。前回2013年12月のアンケートでは、「リニューアルした公式サイトについて「業績・財務情報の収集に便利」、「個人投資家の皆様へ」が事業理解に役に立った」、「さらに読みやすくしてほしい」など多くのご意見をお寄せいただきました。今後もIRサイトやIR活動全般に対する率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。アンケートにご協力いただきました方の中から抽選で1,000名様に、『フロネシス』最新号をお届けいたします。アンケートの実施期間は、2014年7月末までを予定しております。

### ※個人情報のお取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、アンケート結果の分析及び当選された方へのプレゼント送付ならびに当社からのお知らせ発送に使用いたします。また、ご記入いただきました個人情報は、外部委託事業者に、回収・集計・発送等業務を委託する場合がございます。なお、第三者に提供する予定はございません。また、利用目的終了後は当社が責任をもって廃棄いたします。

### 【個人情報に関するご連絡先、苦情・相談窓口】

※開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。  
株式会社三菱総合研究所 広報部  
電話：03-6705-6004 FAX：03-5157-2169  
E-mail: prd@mri.co.jp URL: <http://www.mri.co.jp/request/>

### 【弊社の個人情報保護管理者】

株式会社三菱総合研究所 代表取締役専務 小野誠英  
(連絡先 電話：03-5157-2111 E-mail: [privacy@mri.co.jp](mailto:privacy@mri.co.jp))  
お問い合わせ番号: AFD-002-c

## 株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
TEL 03-6705-6001 URL <http://www.mri.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



表紙 模型製作：テラダモケイ 模型撮影：益永研司 (Nacasa & Partners)